



たんぽぽだより 9月号



発行日 令和8年9月2日

発行元：豊島区立池袋本町小学校

電話：03-3986-7166 住所：東京都豊島区池袋本町1丁目43番地1号

「2学期の指導に向けて」

特別支援教室たんぽぽ

2学期が始まりました。久しぶりに会った子供たちは元気いっぱい、目をきらきらと輝かせていました。充実したお休みを過ごされたことでしょう。

1学期のグループ指導では、3～5人ほどの友達と関わりながら、跳んだり投げたり走ったり等、いろいろな用具を使い、楽しく体を動かしてきました。

さて、私たちが日常的に使っている様々な「感覚」の中でも、「五感」といわれる「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」は、自分で意識しやすい感覚です。一方、ほとんど自覚せずに使っている感覚として、身体のバランスをとるときに使う「平衡感覚」や身体の動きをコントロールするときを使う「固有感覚」などがあります。「触覚」とあわせてこの3つの感覚は、実は日常生活においてとても有用な役割を果たしています。たんぽぽのグループ活動では、この3つの感覚をバランスよく使えるように工夫して指導に当たっています。1学期末に行った保護者会や面談でお話いただいたことも踏まえて、より一層充実した指導を目指して参ります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

手指の動作 折り紙で指先の感覚を磨こう

[折り紙]

個別指導で取り入れることのある折り紙について紹介します。折り紙は、親指や人差し指の腹を使って、決められた位置で紙を折ったり、左右の手で違う動きを同時に行ったりするなど、手指の感覚を磨くことができます。

紙が折れる人にとって、紙を折る難しさはイメージしにくいかもしれません。紙を折るというのは、実は高度な動作です。角と角を合わせて折るには、目と手の協調が必要です。目で形を捉え、左右違う動きをする両手を協調させて動かすことでようやく折ることができます。紙を折るには、この「形を捉える力」「目と手を協調させる力」に加え、さらに「手順を理解する力」と「集中力」も必要です。また、この「折る」動作は、ボタンを留める、洋服を畳むといった生活に必要な動作の基本となるうえ、図工で「つくる」動作のために必要な力のひとつを育むことができるのです。ぜひ、折り紙に挑戦してみてください！

参考：誤学習・未学習を防ぐ！発達の気になる子の「できた！」が増えるトレーニング

(著)橋本 美恵、鹿野 佐代子 翔泳社